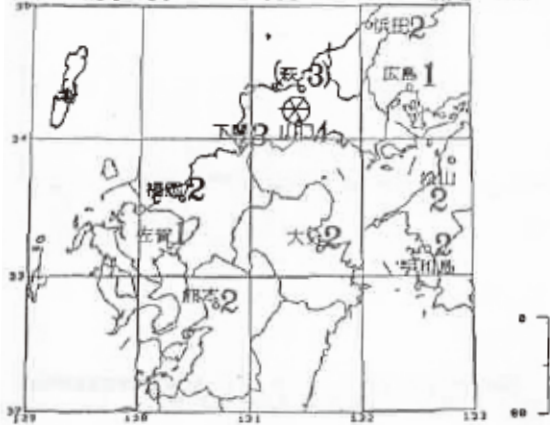
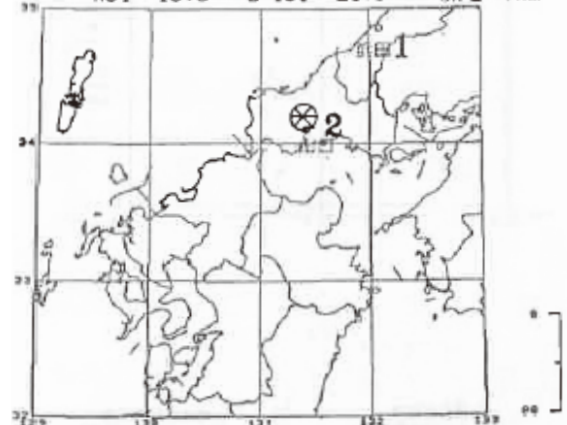


1987年11月18日00時57分(M:5.2) 山口県南部  
N34° 14.3' E 131° 27.5' 深さ 8km



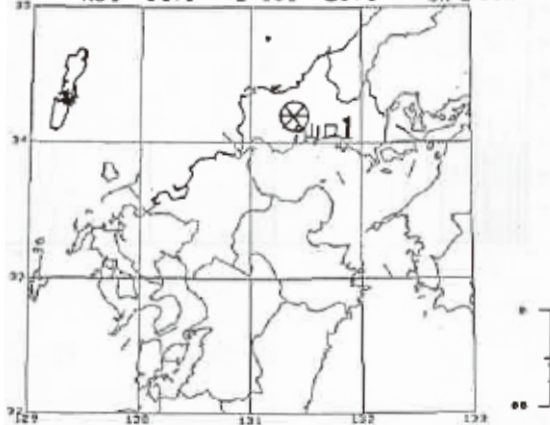
震度分布図(本震:11月18日0時57分)

1987年11月21日08時28分(M:3.6) 山口県南部  
N34° 13.8' E 131° 26.3' 深さ 7km



震度分布図(余震:11月21日8時28分)

1987年12月04日01時32分(M:3.3) 山口県南部  
N34° 14.0' E 131° 26.4' 深さ10km



震度分布図(余震:12月4日1時32分)

1987年12月09日04時28分(M:3.4) 山口県南部  
N34° 13.1' E 131° 26.7' 深さ 6km



震度分布図(余震:12月9日4時28分)

発生年月日	昭和 62(1987)年11月18日0時57分		
震源	山口県中部(山口市の北東約10km 北緯34度14.31分, 東経131度27.45分)		
マグニチュード	5.4	深さ	8.38km
各地の震度	震度4(最大震度):山口 震度3:下関、萩(震度3相当)		
被害の規模	(人的被害)軽傷者2人 (住家被害)非住家一部破損1棟 <被害総額>約8,300万円		
被害の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山口では、昭和43年以来19年ぶりに震度4を記録した。</li> <li>■ 11月18日0時57分の本震以降、長期にわたって余震が発生した。</li> <li>■ デパート内のシャンデリア、陳列物の落下、地割れ、木造家屋の全壊、コンクリート造りの建物の壁に生じた亀裂、木造家屋の壁に生じた亀裂、石積み造り基礎の石の移動、窓ガラスの破損、水道管の継ぎ手部分の破損が発生した。</li> <li>■ 震源地の南方では、墓石、石碑、石灯籠が転倒したり、移動した。</li> </ul>		



やまぐちけんちゅうぶ じしん  
山口県中部の地震では、長い期間、余震が発生しているんだ。  
大きな地震が発生すると、建物が傾いたり土砂災害が起きやすくなることがあるんだ。  
その後には発生する余震でも被害が生じやすくなっているから注意してね。